

# 音楽家の天命

バロック時代に存在した鍵盤楽器、チェンバロをご存じだろうか。見かけは何ともエレガントな楽器で、置く場所によって、その音は美しく繊細に響く。どこに置かれて、響きと音が大きく変貌する。床が大理石のベルサイユ宮殿、しかも「鏡の間」ならば、静かな水面に投げ込まれた小石が弧を描くごとく、音は響き渡っていく。木の床なら、その音は嬉しく鳴り響く。

この楽器と一緒に住むということは、生身の木と住むということだ。マイナス5度を超える北欧州の典型的な冬になると、楽器を最良の状態に保つために、冬場は常に加湿計を見、加湿器も活躍することになる。チェンバロは産業革命以前の文化で、手作りの楽器だ。科学技術がいかに進むと、我々の身体は当時と変わらない。それを喚起するものでもある。

劇的なモノディーが誕生した1600年頃から、大バッハ(J・S・バッハ)没後1750年まで約150年間をバロック音楽の時代と呼ぶ。ビバルディやバッハが活躍したのはバロック後期である。17〜18世紀、バロック音楽には2大勢力があった。17世紀前半にイタリアで生まれたバロック様式は、「語り」を様式としたイタリア様式と、「典雅な装飾を中心に繊細に謳いまわす」フランス様式とに分かれて発展した。フランスとイタリア以外の欧州の国々は、いや応なしに、まさに両極にあるどちらかの様式を国策のように選ぶことになっていた。16世紀、神聖ローマ帝国フェルディナント4世が君臨後僅か1年足らずで早逝し、次男のレオポルト1世が1658年に神聖ローマ帝国皇帝に即位した。彼は戦争で国を拡張することよりも、大の音楽好きだった。そのおかげで今の音楽の都ウィーンができたと言っても過言ではない。神聖ローマ帝国では、イタリア様式が選択され、その伝統の流れの中でモーツァルトもイタリア語でオペラを書くこととなる。17世紀、この2つの様式を混ぜたり、フランス様

## チェンバロ奏者 天野乃里子

あまの のりこ



0年間をバロック音楽の時代と呼ぶ。ビバルディやバッハが活躍したのはバロック後期である。17〜18世紀、バロック音楽には2大勢力があった。

17世紀前半にイタリアで生まれたバロック様式は、「語り」を様式としたイタリア様式と、「典雅な装飾を中心に繊細に謳いまわす」フランス様式とに分かれて発展した。フランスとイタリア以外の欧州の国々は、いや応なしに、まさに両極にあるどちらかの様式を国策のように選ぶことになっていた。

16世紀、神聖ローマ帝国フェルディナント4世が君臨後僅か1年足らずで早逝し、次男のレオポルト1世が1658年に神聖ローマ帝国皇帝に即位した。彼は戦争で国を拡張することよりも、大の音楽好きだった。そのおかげで今の音楽の都ウィーンができたと言っても過言ではない。神聖ローマ帝国では、イタリア様式が選択され、その伝統の流れの中でモーツァルトもイタリア語でオペラを書くこととなる。17世紀、この2つの様式を混ぜたり、フランス様

がそれらであり、それぞれの国の国民性を表した曲と言われている。

私は大学卒業後、一時期投資銀行家も目指したが、その後オランダへ留学し、バロック音楽を勉強した。今、阿姆斯特ダム在住だが、オランダはドイツ等に比べると、音楽家にとつて居心地の良い場所ではない。コロナ禍の2020年春、ロックダウン直後に、ドイツのモニカ・グリュッター文化大臣が「音楽は人類にとって必要不可欠のもの」と宣言し、素早く音楽家の救済に乗り出したことは記憶に新しい。2019年に「バロックの真珠たち(Pearls of Baroque)」という室内楽オーケストラを設立した。芸術監督として、よく知られた名曲と、世に知られていない傑作を組み合わせたプログラムで活動を展開している。2020年のロックダウン明けに、歴史上初めて3カ月間閉鎖された阿姆斯特ダムのコンセルトヘボウ・ホールで、バロック・バイオリンの山懸さゆり氏とともに、バッハプログラムを演奏した。「コンセルトヘボウのロックダウン明けに、日本人の女性演奏家2人がオープンニングを飾った」として話題になった。

ここ数年、私はバッハをよく弾いている。バッハを弾いていると、天から降りてきた音楽が私の肉體を通して、指先から音となって空間に響き渡り、聴衆の方々と共に共有し合う、そんな時間が多々ある。最高の音楽の質と当時の作曲家の自筆譜からのメッセージを含め、探究とパフォーマンス、また我々音楽家が安心して仕事と精進に打ち込める環境の模索に奔走している。

## 時の調べ Essay

### 略歴

桐朋学園音楽科ピアノ専攻卒、慶應義塾大学文学部美学科卒。阿姆斯特ダム在住。欧州オランダに渡り、ハーグ王立音楽院、阿姆斯特ダムスウェーデン音楽院を卒業。チェンバロで演奏家ティプロマ(国家演奏家資格)取得。2021年にリリースしたバッハの「バイオリンとチェンバロのためのソナタ」のCDは、レコード芸術の特選となり、このプログラムの歴史的な傑作の誕生と絶賛を浴びる。同LPも、2022年6月に発売予定。2019年以降、「バロックの真珠たち」の芸術監督として、阿姆斯特ダムコンセルトヘボウを中心に、バロックシリーズのプロジェクト。日本では、2021年より田園調布せせらぎ館にてバロックシリーズを春と秋に展開。



その集大成のような曲に、ルイ14世の宮廷音楽家だったフランソワ・クープランの「諸国の人々」という傑作がある。当時の4つの国の人々(この時代、欧州が主な彼等の世界と考えられていた)を各組曲のタイトルに冠した曲集である。「フランス人」「スペイン人」「ドイツ人」「オーストリア」帯の「神聖ローマ帝国人」、トリノを中心とする北イタリアのフランスに接した地域である「ピエモンテ人」

